

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼけっとびーすの森 のびのびクラブ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 21日		～ 令和7年 1月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 21日		～ 令和7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアの必要な児童を受け入れる体制と環境がある。	除菌効果のある業務用加湿器(ナノフィール)を各支援室に設置して湿度を管理している。気管切開の利用者さんの痰が柔らかくなる効果が見られている。 看護師を適切に配置できるようにしている。	医療的ケアの手技の確認のための研修を実施する。 家族との間でケア内容の確認を密に行う。
2	多職種が連携し、安全に留意して支援を行っている。	多職種の職員がチームで一緒に支援を行い、毎日の振り返りで情報共有を行っている。他職種の業務を互いに理解し、協力しあっている。	それぞれの専門性を更に高めるとともに、尚一層情報共有に努める。
3	広々とした環境の中で、利用者さんがのびのびと過ごすことができる。	広い園庭やホールを活用し四季折々の活動を取り入れている。	利用者一人ひとりのニーズに対応しながら、更に創意工夫した活動プログラムを実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な障がいに対する専門性が不足し、こどもたちにわかりやすい構造化された環境の整備が不十分である。	学びや経験の機会が少ない。	研修など様々な障がいについて学ぶ機会を増やし、職員のスキルアップを図る。
2	子育て支援、家族支援や保護者への情報発信が少ない。	家族に対して子育てに関する助言や研修を行う機会等を設けていない。	家族に対して家族支援プログラムや研修の機会を提供する。
3	地域との交流の機会が少ない。	地域の学校や放課後児童クラブ等との交流の機会を設けていない。 地域の他のこどもたちと接する機会が少ない。	地域の放課後児童クラブなどに声をかけ、交流の機会を設ける。